

CS 川越市立南古谷小学校 学校だより 2月号

令和8年1月30日発行



なのはな



【学校教育目標】

- かしこく
- ゆたかに
- たくましく



思いやり 励ましの心 春に染む

校長 嘉手川 満

まだまだ寒さの厳しい日が続いています。それでも、1年生や2年生が水やりをしているチューリップやヒヤシンスの球根からは、青々とした芽がちよこっと顔を出し、春の気配を感じるようになりました。

2月4日(水)の「なかよしフェスティバル」に向けて、こどもたちは、自分たちで考えたお店の準備をがんばっています。お店で使う用具や飾りつけ、ポスターやルール説明の表示など、1年生から6年生みんなで役割を分担して作っています。上級生が下級生に優しく作り方を教えたり、色やデザインなど一緒に考えたりする様子に、じんわり胸にぬくもりが広がります。



2月18日(水)と2月19日(木)には、校内長縄大会が行われます。どの学級でも、体育や休み時間に、自分たちの記録を伸ばそうとくり返し練習しています。記録が伸びる度に喜ぶ様子や、縄にひっかかった友達にも「どんまい」「次は大丈夫だよ」と優しく声をかけている様子に、私たちの心もなごみます。

厳しい寒さの中でも、こどもたちが見せる「思いやり」や「励まし」の言葉が、校内に春のようなあたたかさを広げてくれています。授業参観・懇談会では、日々の学習や友達との関わりの中で育っているこどもたちの姿を、保護者の皆様にもご覧いただければと思います。



小中連携授業(6年生・1年生) 1月22日(木)

南古谷中の生徒のみなさんが、社会体験事業で実践したまとめを6年生に伝えてくれました。1年生には、4月に入学してくる1年生にどのように接したらよいか、分かりやすく教えてくれました。

中学生のお兄さん、お姉さん、ありがとうございました。



オンラインで
実施しました

